

平成27年度学校評価の結果について

北海道美深高等養護学校あいべつ校

1 教職員アンケートの結果

(1) 調査対象

教育職員（教諭 実習担任教諭 実習助手 養護教諭） 16名
行政職員（事務職員 非常勤公務補） 4名 計20名

(2) 回収率

教育職員 16 / 16 (100%)
行政職員 4 / 4 (100%) 計20 / 20 (100%)

(3) 集計における留意点

行政職のため、教育に関する設問に回答できない項目があることから、教育職員のための集計も行った。

(4) 設問項目からの分析

ア 評価の高い項目

肯定的回答（A：十分である、B：おおむね十分である）が90%を超えた項目
保護者対応（服務規律の遵守）については、100%の肯定的回答
安全指導、進路指導

イ 評価の低い項目

否定的回答（C：やや不十分である、D：不十分である）が比較的多い項目
教育課程、保護者対応（懇談や教師の専門性、保護者への連絡）

ウ わからないと回答した項目

教育課程（個別の教育支援計画、個別の指導計画）、保護者対応（保護者への連絡）

集計からの分析

- 昨年度に引き続き、保護者や地域に信頼される学校を目指して、教職員一人一人が服務規律の遵守を強く意識し、実践してきた成果が表れた。
- ▲ 個別の指導計画の充実にむけて、目標設定から評価に至るP-D-C-Aの再点検行い、次年度の重点課題として取り組む。
- ▲ 教員の専門性向上にむけて、校内実践研究の充実に加え、他の研修会などに計画的に職員を派遣し、還流を行いたい。
- ▲ 保護者の立場に立った話し方や伝え方に努める。

2 保護者アンケートの結果

(1) 調査対象

保護者 29名

(2) 回収率

保護者 29 / 29 (100%)

(3) 設問項目からの分析

ア 評価の高い項目

肯定的回答（A：十分である、B：おおむね十分である）が90%を超えた項目

保護者対応（適切な言葉遣いや態度等）については100%の肯定的回答

教育方針・内容の説明、教育課程（個別の教育支援計画、個別の指導計画）、生徒指導（生徒との信頼関係）、安全指導（事故防止、施設・設備）、保護者対応（相談、情報伝達）

イ 評価の低い項目

否定的回答（C：やや不十分である、D：不十分である）が比較的多い項目

進路指導（情報提供）、情報発信（ホームページや学校便り）、保護者対応（PTA活動）、
※教育課程（個に応じた授業）

ウ わからないと回答した項目

教育課程（個に応じた授業）、生徒指導（適切な指導）、情報発信（ホームページや学校便り）、保護者対応（PTA活動）、事務手続き

集計からの分析

- 26年度に引き続き、保護者との対応時の服装や態度について、高い評価を得た。
- 保護者への適切な情報提供や説明（教育内容、個別の教育支援計画、個別の指導計画等）によって、相談における満足度の向上につながった。
- 事故防止に向けた安全対策や施設・設備により、安全・安心な学校生活を送ることができていると評価された。
- ▲ 将来の自立や社会参加に向け、障がいの特性に応じた授業への期待が明らかになった。
- ▲ 多くの保護者が参加でき組織が活性化するPTA活動について検討する。

3 教職員アンケートと保護者アンケートの比較の結果

(1) 教職員の評価が高く保護者の評価が低い項目

進路指導（情報提供）90%：82%

(2) 保護者の評価が高く教職員の評価が低い項目

教育課程（個別の教育支援計画）90%：70%、（個別の指導計画）93%：60%

保護者対応（情報提供）96%：70%

(3) 教職員、保護者ともに評価が高い項目

保護者対応（適切な言葉遣いや態度等）100%：100%

(4) 教職員、保護者ともに評価が低い項目

教育課程（個に応じた授業）75%：79%

自由記述

- ・ 1、2年の保護者の交流が不十分な点が気になります（私自身、顔と名前が一致する方も少なく）。スポーツ大会に子どもが参加しても1年生の保護者の参加が少なく交流できず残念な所です。良くない状況かと思いますが、良い案も思い浮かばず……。来年はもう1学年増えますし、他の学校もこんな感じなのでしょう。
- ・ 危機管理の面で問題が起きるということは、学校の先生が一生懸命やっても生徒に伝わらないのでは、意味がない。教室に先生がいない時間に発生しているので、誰もいない時間は作れないのでしょうか。先生によっては頭ごなしに生徒に指導している先生がいます。見ていて不快です。
- ・ 日々きめ細かい指導をして頂き感謝しています。子どもたちの思いに寄りそって指導して頂いていると思います。なかなか難しいことかもしれませんが、PTA活動についても今後どんどん活発になればいいなと思います（行事のお手伝いや懇親会など）。
- ・ 進路や学校のことなど、もう少しわかりやすく誰でも理解できるようにしていただけるとありがたいです（プリントなどもわかりやすくしてください）。人それぞれ物の取り方はいろいろあるので。

自由記述と集計からの分析による取り組み

■ 保護者対応（PTA活動の充実）について

- ・ 来年度の行事（体育祭、学校祭など）において、保護者主体の活動を設定する。
- ・ これまでに行ってきた懇親会や学習会の他に、ミニ学習会や茶話会など、保護者が無理なく交流できる場面を設定する。

■ 安全指導（危機管理）について

- ・ 生徒指導や生徒対応の共通理解、職員配置、職員体制などを学年会の中でより細かく話し合い、学年内で対応が難しい場合は、学年を超えての指導体制を検討する。

■ 情報発信、保護者対応について

- ・ より丁寧な保護者対応に努める。
- ・ 教育的な専門用語は極力使用せず、保護者にとって分かりやすい内容の文書作成に取り組む。

■ 進路指導

- ・ 生徒や保護者にとって、分かりやすい内容の文書作成に取り組む。
- ・ 懇談会や説明会などで、生徒や保護者に分かりやすく説明する。

4 生徒アンケートの結果

(1) 調査対象

生 徒 29

(2) 回収率

生 徒 28 / 29 (97%)

(4) 設問項目からの分析

ア 評価の高い項目

「はい」が90%を超えた項目

生徒指導（社会でのルールやマナー）

イ 評価の低い項目

「いいえ」が10%を上回った項目

困り感、自己有用感（14%）、

信頼関係、友人関係、相談体制、学習の内容

ウ わからないとの回答が10%を上回った項目

進路指導（39%）、自己有用感（32%）、友人関係（25%）、信頼関係（21%）

困り感（21%）、相談体制、学習指導、学習の内容、満足度

集計からの分析

- 生徒指導について、どの学習においても「社会人になるために」ということを意識して指導していることが生徒にもしっかりと伝わっていると考ええる。
- 部活動の自由記述については、様々な大会に参加し、部活動が充実している結果と捉える。
- ▲ 困り感については、「楽しい」といった判断基準が曖昧で、生徒には難しい設問となった。
- ▲ 信頼や自己有用感について、指導の内容を素直に受けとめられていない、もしくは特性に応じた指導がなされていないことと考える。
- ▲ 進路指導について、卒業生がいないことから具体的な進路状況が見えず、まだ先のこととして捉えているための回答と思われる。

自由記述

- ・ もっと部活の時間を長くしてほしい。
- ・ 部活動の時間を増やしてほしいです。
- ・ 特にありませんが、進路が不安です。

自由記述と集計からの分析による取り組み

- 友人関係について、生徒の人間関係の希薄さが伺える。次年度、新たな学校行事（体育祭、学校祭）を行う中で、生徒間の良好な人間関係の構築にむけた取り組む。
- 生徒の特性に応じた指導を進め、キャリアカウンセリング等により、生徒のキャリア発達を促す。